

平成23年度
実施事業

事務事業名	特別保育事業（交流事業）
-------	--------------

区分	No	名称
章	1	やさしさと共生するまち
節	1	安心して子どもを生み育てられるまちをつくる
施策	1	子育ての不安と負担の軽減
小分類	3	子育て環境の整備
主要な施策	1	保育所、幼稚園における保育・教育の充実及び環境の整備
事務事業番号	001	事業開始年度 平成 10 年度 事業終了年度 平成 - 年度 会計種別 一般会計

部 名	保健福祉部	グループ名	子育てG
-----	-------	-------	------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目 的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	老人や異年齢児の交流を通じて対人関係を学ぶことにより、情緒・情操面の発達の一助とすることを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成23年度の実績を具体的に記入してください)
	<p>遊戯の披露や昔ながらのゲームなど双方が楽しめるメニューで、老人クラブや老人福祉施設の入所者との世代間交流、のぞみ園の通所児などとの異年齢児交流を各保育所が年6回を目途に実施する。</p> <p>交流先：老人クラブ、緑風園、グリーンコート三愛、のぞみ園など</p>
今後の方向性	異年齢児・高齢者との交流を通し子どもの発達の一助となるよう努める。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	児童福祉法

事業費（財源内訳）の推移

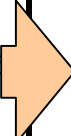
《Plan・Do》

区分		単位	H22年度 決算	H23年度 決算	H24年度 当初予算	H25年度 見込	H26年度 見込
国庫支出金	名称 子育て支援対策交付金（H22まで次世代交付金）	千円	543	542	578	578	578
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円					
事業費 合計			543	542	578	578	578

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	22年度 実績	23年度 実績	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	交流会実施回数	回	目標値	30	30	30	30	30
			実績値	25	23			
	交流先延べ参加人員	人	目標値	800	800	800	800	800
			実績値	481	516			

現況		《Check》
現状の状態、問題点、課題等《事業前》	具体的な対策、解決の方向性《事業後》	
<p>児童の発達の一助のみならず、交流先の老人会等の方にも大変喜んでいただいている。</p>	 <p>交流内容の充実を図りながら実施回数も増やしてけるよう努力する。</p>	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について				
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	→	市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見	児童が様々な人との交流を行うことは、精神面における健全な発達に効果がある。
		民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である		
		国、道、他団体等との連携や広域化が可能である		
		国、道、民間等の事業と重複・類似している		
2. 事務事業の必要性について				
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	→	市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見	交流者から継続を求める要望が強く、必要性の高い事業と考えられる。
		市民アンケートの結果から必要性が高い		
		社会情勢、地域事情等から必要性が高い		
		市民の大部分が関連することから必要性が高い		
3. 事務事業の効率性について				
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	→	低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見	人的要素を含む費用は、必要最小限にて実施している。
		市で実施するほうが民間委託より効率性が高い		
		多額の経費や労力を要するがやむを得ない		
		将来的に効率性を向上できる		
4. 事務事業の成果について				
目的を達成するための成果はあがっていますか？	→	成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見	本事業の目的である、情緒・情操面の発達の一助という点に着目すれば、成果があがっていると考えられる。
		市民、団体等の声から成果を感じられる		
		目に見える形で成果があがっている		
		成果の把握は困難である		

担当グループによる評価 《Check》

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	近年における児童の問題として、精神的な発達度が未成熟と指摘され、このため情緒・情操面の大切な形成時期である就学前に本事業を実施することは有効と考えるので、引き続き、必要な事業である。
-----------	----------------------	---

行政評価会議による評価 《Check》

維持	備考	
-----------	----	--